

光州遺族会会長・李金珠さんが2021年12月12日にお亡くなりになりました。

心よりご冥福をお祈りします。

李金珠さん、安らかに眠りください。

李金珠さんの訃報に接し、関釜裁判をともに闘った広島の私たちは悲しみに暮れています。そして今私たちは、いつも背筋をピンと伸ばして、気品あるお姿だった李金珠さんを思い浮かべています。李金珠さんと私たちの縁は、20世紀の最後の年から広島で始まった関釜裁判第2審の時から始まりました。原告のハルモニたちと一緒に来日され、同じものを食べ、同じ所に泊まり、そして広島県内を一緒に移動しながら原告たちを励まし支えておられたお姿が忘れられません。

広島市内の教会の前を通りかかった時、「私の結婚式はね教会で挙げましたよ。夫はタキシードに私はウエディングドレスを着てね。当時は教会での結婚式もウエディングドレスも珍しかったですよ。」と語る李金珠さんの目は、遥か彼方を思い浮かべているように見えました。数年前にお見舞いに行った療養病院の枕元に十字架とともにその結婚写真が飾られていたことを思い出します。おそらくそれが李金珠さんにとって人生最高の時であったのでしょう。それだけに新婚生活2年そこそこで日帝に夫を奪われ、奈落の底に突き落とされた無念さはいかばかりだったかと思うと胸が張り裂けるようです。99年に県北三次の西善寺で行われた「高暮ダム強制連行犠牲者追悼式」に参加された時の李金珠さんは真っ白なチマチョゴリ姿で犠牲者の魂を癒し、日韓市民連帯の絆を結ばれると同時に、毅然とした態度で日本政府の責任を追及しました。私たちが光州に行った時は「良心的日本人歓迎」と壁に張り紙をして歓迎してくださいました。日本社会にあって微力な私たちを大きな懐で迎えてくださったことを忘れません。李金珠さんのその不屈の闘志と寛容な心を、私たちは受け継いで日本社会がまだ果たしていない宿題に取り組んでいこうと思います。そしてあなたが何十回も海を渡りながらつないだ日韓市民連帯の絆を引き継いでいきます。

李金珠さん、どうぞ安らかに眠りください。そして79年ぶりに天国で会う夫の金道敏さんと今度はゆっくり楽しい時間をお過ごしください。

2021年12月13日

関釜裁判を支援する広島連絡会 元代表 土井桂子
関釜裁判を支援する県北連絡会 元代表 福政康夫
関釜裁判を支援する福山連絡会 元代表 都築寿美枝

尊敬する李金珠会長の旅立ちを心より悼みます。

関釜裁判の原告たちの闘いを励ましつつ見守ってこられた彼女の毅然とした姿が目には浮かびます。

多くの日本による戦争犠牲者の闘いを助け導かれたこと、そして日本の支援者にも温かい心を寄せていただいたことに私たちは深い敬愛の念を抱いてきました。

あなたに出会い共に闘えたことに感謝いたします。

心よりご冥福をお祈りします。

戦後責任を問う・関釜裁判を支援する会 花房俊雄、花房恵美子

李金珠さんの訃報に接し謹んでお悔やみ申し上げます。

気品と気高さに凜としたチマチョゴリ姿が目には焼き付いています。

優しい立ち振る舞いが、ときに不正義に対し激しく抗う姿勢に胸打たれることもありました。

心安らかにお眠りください。

弁護士 李博盛

いまとても悲しい気持ちでいっぱいです。出来ることならすぐにも飛んで行きたい気持ちです。

関釜裁判の闘いを通じて、素晴らしい李金珠さんにお会いする事ができ、とても幸せでした。

光州を訪問した時には、宮廷料理をご馳走になったり、民主化闘争の聖地にも案内して頂きました。

関釜裁判ではハルモニ達をしっかりとめられ、堂々と闘いに挑められました。

いまその姿を思い出すと、ひかり輝いておられた李金珠さんを思い出します。

本当に素敵なお方でした。もっともっと長生きをして欲しかったです。

李金珠さんが築き上げられた道は、韓国の民衆のみなさんと私達にこれからも引き継がれていくことでしょう。

ご葬儀には参列することは出来ませんが、福岡の地から、心からの哀悼の意を表します。

「李金珠さんありがとうございました。そして、ゆっくりお休みになってください」

福岡・山下英二

“温かい連帯に感謝申し上げます。”

李金珠太平洋戦争犠牲者光州遺族会の会長が長い旅路を後にし、2021年12月15日、順天市立公園墓地の日当たりの良い所で永遠の眠りにつきました。

1920年12月9日に平安南道の順川(スンチョン)で生まれ、1942年にソウルで夫と別れ、1948年に光州に引っ越して定住し、69歳で長い長い闘いを始めました。そして、溶鉱炉のような激しい人生を送り、2021年12月12日、102歳で長い旅程を終わらせました。

平安南道(北)の順川から全羅南道(南)の順天へ…。振り返ってみると、李会長の生涯は、日本の植民地、解放と分断、軍部独裁と民主化運動につながった荒波の韓国現代史であり、大変な歳月を全身で経験してきた悲痛なわが民族の自画像です。

再び土に帰られましたが、日帝強制動員被害者の温かい友、貧しくとも気品に溢れ、優しさの中に強く信念を貫いた現代の真の人権運動家・李金珠会長は、永遠に私たちのそばに寄り添うことでしょう。

お忙しい中、わざわざ弔問にお越しくくださった方々に心より感謝申し上げます。遠くから心を合わせ、手を取り合ってくださいのおかげで故人の最期を安らかにお見送りすることができました。訃報を聞き、お悔やみの言葉をお送り下さった日本の各支援団体および先生方に、大変感激し、感謝の気持ちをお伝えいたします。

会長が遺した歴史的責務を重く受け止め、再び力強く走っていきます。
ありがとうございました。

2021年 12月

日帝強制動員被害者の友、李金珠会長 市民社会葬 葬儀委員会